

佐賀県県民協働課長 様

住 所 東京都中央区銀座4-13-19 銀林ビル4階
団 体 名 特定非営利活動法人キープ・ママ・スマイリング
代表者職・氏名 理事長 光原 ゆき
電話番号 03-6822-5371

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和4年度において当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第7号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第7号 別紙2）

(様式第7号 別紙1)

令和4年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

団体名 NPO 法人キープ・ママ・スマイリング

1 事業実施期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

2 事業の成果（県民の便益にどのようにつながったのかについて記載）

私たちは、昨年度から引き続き、佐賀大学医学部附属病院へ、地元の農家から無償で提供された生産物を使って市内の結婚式場のシェフが調製したお弁当を30名に提供し、大学生と当団体のスタッフが病院までお弁当を届けるという地域を巻き込んだ活動となりました。高度医療を提供する同センターは、佐賀県における小児中核施設として県内全域から重症の病児を受け入れています。家族の中には、病院まで遠くて通うことができず小児病棟に泊まり込んで長期に看病している人も少なくありません。新型コロナウイルス感染症が収束した状況でもなお、小児病棟では外出、面会をはじめ、さまざまな行動を制限される生活が続いており、病児と家族は心身ともに疲弊しています。このような状況に置かれた家族に定期的にお弁当を差し入れることは単に空腹だけでなく、心を支える大きな効果も現れています（下記「受益者の声」参照）。

また、2022年6月19日に私たちの地域拠点である佐賀市にて病気の子どもと家族を応援する啓発イベント「SAGAの笑顔をつなげる日～地域のチカラで病気の子どもを育てる家族を元気に！」を開催しました。

この啓発イベントは、地域の人たちに病気の子どもとご家族への理解を深めていただくとともに、みんなで応援する気持ちを病気のお子さんとその家族に届け、本キャンペーンのテーマである「笑顔がつながる日。」にすることを目的とし、一人でも多くの地域の方にご参加いただけるようSNSで告知したほか、地元の新聞に折り込みチラシを入れるなどPRに努めました。

■受益者の声

「スイーツBOXは親子で美味しくいただきました。思わぬ豪華なご褒美でとても嬉しかったです。ありがとうございました。」

「豪華！デザートまであって幸せな気持ちになりました。病院の食堂は閉まっていてコンビニや家族に持ってきてもらうしかなく、、、ありがたいです。」

「付き添って3週間がたち、身体も心も疲れていた時に、このようなお弁当とメッセージをいただき、すごく元気をもらいました。」

「地元の人たちの優しさが詰まったお弁当、とってもおいしかったです。」

「入院中は子どものことでいっぱい、自分のことは後まわしの生活をしているので、お腹いっぱい気持ちも満たされました。明日からも頑張ります。」

3 寄附金を活用して行った事業の実施に関する事項

(1) 今年度寄附金を活用して行った事業（GCFを行った場合はGCF名とその内容を記載）

事業名	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の支出金額 (単位：千円)
① 付き添い生活応援パック	病棟から出られない長期入院の付き添い者の心身の支援を目的に「付き添い生活応援パック」を無償で送付。	(A)令和4年4月～令和5年3月 (B)全国の病院 (C)10名	(D)全国の小児病棟に付き添い入院するご家族 (E)2,500名	5,286
② お弁当 de スマイリング in 佐賀大学病院	株式会社ディアーズ・ブレインが運営する結婚式場・アクアデビュー佐賀スイートテラスに所属するシェフが地元の食材を使ったお弁当を調製し、それをキープ・ママ・スマイリングのスタッフと佐賀大学などの大学生が佐賀大学医学部附属病院こどもセンターまでお届けする。	(A)令和4年6月、9月、12月、令和5年3月 (B)佐賀大学医学部附属病院こどもセンター (C)5名	(D)佐賀大学医学部附属病院こどもセンターにて付き添う家族 (E)毎回30名	0
③		(A) (B) (C)	(D) (E)	

(2) 次年度繰越金が発生する場合、その活用見込み

事業名	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所	事業費の支出金額 (単位：千円)
① 付き添い生活応援パック	病棟から出られない長期入院の付き添い者の心身の支援を目的に「付き添い生活応援パック」を無償で送付。	(A)令和5年4月～令和6年3月 (B)全国の病院 (C)10名	3,308

(様式第7号 別紙2)

収 支 決 算 書

区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	6,486,057	
	(うち本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分)	(6,309,437)	
	(うち前年度控除額(県事務経費)還付分)	(176,620)	
	日本財団助成金 (付き添い生活応援パック)	5,552,000	
	麒麟福祉財団助成金 (お弁当 de スマイリング in 佐賀)	124,200	
	収入 計	12,162,257	
支 出	○付き添い生活応援パック	10,838,891	
	印刷製本費	85,168	
	消耗品費	2,946,455	
	食材等購入費	1,674,567	
	商品等仕入高	3,363,410	
	通信運搬費	2,004,481	
	旅費	7,850	
	会議費・福利厚生費	6,210	
	業務委託費	154,000	
	ソフトウェア	596,750	
	○お弁当 de スマイリング in 佐賀大学病院	124,200	
	食材等購入費	124,200	
	返礼品等の調達に係る費用	310,210	
	返礼品等の送付に係る費用	53,148	
	ふるさと納税の広報に係る費用	2,230	
ふるさと納税の事務に係る費用	45,000		
次年度繰越金	788,578	次年度に、付き添い生活応援パック事業に充当予定	
支出 計	12,162,257		

○GCF を行った場合は、GCF の事業単位で支出を区分して記載してください。その他の事業についてもできるだけ事業単位で記載してください。

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。